



全難聴便り

発行:事務局 〒162-0066
東京都新宿区市谷台町 14-5 MSビル市ヶ谷台1F
編集:全難聴事務局
電話:03(3225)5600
FAX:03(3354)0046
URL:<http://www.zennancho.or.jp>
E-Mail:zennacho@zennancho.or.jp

第 22 回全国中途失聴者・難聴者福祉大会 IN 奈良のご案内

つなげよう ともに生きる未来を
～国のまほろば大和の地から～



11月開催の全難聴福祉大会
in 奈良のご案内を、実行委員長の
出口明子会長よりさせていただきます。



初秋の候、皆さまにはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。奈良地方は、まだ残暑厳しい日々ですが、皆さまの地域ではいかがでしょうか。

さて、第22回全国中途失聴者・難聴者福祉大会は、古都・奈良での開催です。かつては国の中心地であったこの奈良に、全国から皆さまをお迎えできますことをとても嬉しく、またたいへん誇りに感じています。

4月には「障害者差別解消法」が施行され、福祉行政面だけにとどまらず、私たちの生活環境が大きく変わろうとしています。何よりも、私たち自身の声をあげていくことが求められています。私たちの手で、私たちの未来を変えていく、その足がかりになるような大会にしたいと思い、「つなげよう ともに生きる未来を～国のまほろば大和の地から～」を大会スローガンとしました。これからのに向けた一歩を、皆さまと共に、奈良県から踏み出したいと思えます。

分科会は、軽・中度難聴者の課題や今後の要約筆記事業のあり方、世界の難聴者福祉情勢など、充実した内容となっています。また女性部は、これぞ奈良という内容です。記念講演は、漫画家の里中満智子氏をお迎えします。

オプションの観光では、薬師寺、東大寺の世界遺産のほか、日本の歴史のターニングポイントともなった、談山神社にご案内します。未来に思いをはせながら、いにしへの奈良をお楽しみください。懇親会では、お互いの親睦を深めていただけるよう、アトラクションにも工夫を凝らしています。新幹線駅も空港もない県ですが、歴史の重みを感じていただけることでしょう。ご参加の皆様は、実り多き大会となりますよう、実行委員が一丸となって、準備を進めています。多くの方々のご参加を、心よりお待ちしております。どうぞお誘いあわせて、まほろば大会にご参加くださいますよう、ご案内いたします。



○全難聴福祉大会 IN 奈良分科会のご案内

第1分科会 (国際部)

テーマ：「全難聴は見た！世界の難聴者福祉情勢」

座長：佐々木京寿氏・瀬谷和彦氏（国際部）講師：大沼直紀氏（国立大学法人筑波技術大学 名誉教授・元学長）：草地美穂子氏（ハワイ州政府健康省障害者総合支援機関ソーシャルワーカー）

難聴者福祉向上には世界の難聴者福祉動向を見据え、グローバルな視野に立った活動が欠かせません。本分科会では、全難聴が体験した世界の難聴者福祉情勢の中からテーマを絞って3部構成とし、報告・解説・討論します。

第2分科会 (女性部)

テーマ：「再び奈良で、歴史と文化に触れてみよう」

座長：新谷友良氏（全難聴理事長）講師・パネリスト：橋本純信師（十輪院住職）
パネリスト：藤岡央子氏（奈良県協会）：片山ひろみ氏（京都府難聴者協会）

「お坊さまと話しませんか？」「仏教に関するさまざまな相談から人生の悩みまで、お聞きします。」こんな気さくに声をかけてもらえたら、思わず「話したい！聞いてもらいたい！」と返してしまいます。十輪院住職の橋本純信師から直接分かりやすくお話しを伺います。瞑想体験もしていただきます。

第3分科会 (補聴医療対策部・近畿ブロック)

テーマ：「きこえの健康支援センターに望むもの ～地域のきこえ支援の取り組みから～」

座長：中川良雄氏（難聴補聴医療対策部長 堺市きこえ支援協会）パネリスト：浅井信一氏（軽・中度難聴者グループ「かのもはし」）：中井弘征氏（愛知淑徳大学）
：松崎丈氏（宮城教育大学 みやぎ難聴協）：佐野昇氏（全難聴 事務局長）

1999年、京都市を中心に軽・中度難聴者、いわゆる身障手帳を所持できない難聴者のグループが誕生しました。その集まりの意義は数年をかけて近畿圏に広まり、現在は主に京都で、そして神戸や堺でもセルフサポートを目的としたグループが活動しています。進行方法やディスカッションの手法はそれぞれ違いますが、いずれも軽・中度難聴者を意識したスタイルで定期的に開かれています。この分科会では活動の様子をご紹介します。難聴者がきこえの支援センターに何を望むのか、という声をくみ取っていきたいと考えています。

第4分科会 (要約筆記部)

テーマ：『『今』、要約筆記事業を最大限に生かす ～誰も排除されない社会をめざして～』

座長：宇田川芳江氏（全難聴要約筆記部長）講師・助言者：三宅初穂氏（全要研理事長）報告者：山根和志氏（鳥取県西部聴覚障がい者センター）：田代慶藏氏（三重県協会会長）：高橋りか氏（東京手話通訳等派遣センター）

2016年4月から障害者差別解消法が施行されました。この分科会では、まず、三宅氏から「意思疎通支援事業の理解と要約筆記」～難聴者の役割・難聴者協会の役割～というテーマでお話ししていただきます。

第2部事例報告 解消法により、各地の要約筆記事業の状況に変化はあったのでしょうか。派遣コーディネーター、事業体に関わっておられる方々から報告をいただきます。

○記念講演

里中満智子 氏
講演テーマ 「夢をみる力」

漫画家

2006 年文部科学大臣賞受賞
2010 年文化庁長官表彰受賞
2014 年外務大臣表彰受賞

募集要項は全難聴ホームページをご覧ください。
また、9月1日よりネット経由にて申し込みができるようになる予定です。

○アトラクション

大阪パントマイムグループ
聴覚障害者・聴者が持つそれぞれの感性と個性が溶け合った独自のマイムを目指しています



👉 熊本地震に関する「災害義援金」についてのご報告

「平成 28 年熊本地震」にて被災された方々を支援する目的で、全難聴は、「熊本地震義援金」募集しました。

8 月現在、義援金総額は以下の通りです。

141 万 9381 円

加盟協会や会員、関係団体から多くのご協力をいただきましてありがとうございました。全難聴対策本部で有効に被災地被災会員に配分できるようにいたします。

👉 国際難聴者会議に対する支援カンパについてのご報告

IFHOH（国際難聴者連盟）会議 2016 は、6 月 23 日～26 日にワシントン DC にて H L A A（全米難聴者協会）の 2016 年次大会と併催されました。

記念フォーラム、セミナー、ワークショップなど連日多彩な催事が挙行されました。

全難聴は、大会参加のための情報保障として、言語通訳者、要約筆記者が同行するツアーを計画し、そのための支援カンパをお願いしました。

8 月現在、支援カンパ総額は以下の通りです。

74 万 5800 円

誠にありがとうございました。

先月号にて、茨城県中途失聴・難聴者協会の齊藤理事長による会議参加報告を掲載しましたが、国際部による、各分科会の内容詳細を含めた報告書を現在作成中です。

別件になりますが、先日公開された、IFHOH 国際難聴者協会理事の Louise Carroll 氏による、権利条約に関する YouTube 映像への日本語字幕の準備も国際部によって進められています。

準備が整いましたら、公開する予定です。今後も、全難聴国際部の活動にご理解とご協力をお願いいたします。

理事の動き（8/1～8/31）

- 8月1日 厚労省面談（新谷、瀬谷）
- 8月1日 JDF 国際委員会（瀬谷）
- 8月6日 滋賀県登録意思疎通支援者研修会講義（新谷）
- 8月8日 補聴器販売者技能向上研修事業委員会（宿谷）
- 8月9日 （JDF）郵便制度に関する四者協議（新谷）
- 8月13日 全難聴、全要研定期協議会（新谷、佐野、宇田川）
- 8月19日 全通研研究集会（新谷）
- 8月19日 全国盲ろう者大会（神矢）
- 8月22日 第3回字幕ガイドライン標準化委員会（中止）
- 8月22日 第1回消費生活用製品の音声案内 JIS 検討委員会（中止）
- 8月24日 電気通信アクセシビリティ国際標準化対応検討委員（小川）
- 8月26日 JDF 権利条約推進委員会（国際部：瀬谷理事の代理出席）
- 8月30日 JDF 幹事会（新谷）
- 8月31日 オリパラに向けた多様な利用者の円滑な移動支援に関する共同研究協議会（小川）

📌 事務局報告

- 8月1日 厚労省面談
- 8月13日 全難聴、全要研定期協議
- 8月31日 全難聴だより No. 99 発行

《予定》

- 9月7日 石川准さんとの懇談会
- 9月8日 事務局会議
- 8月12日 JDF 企画会議
- 9月21日 JDF 国際委員会
- 9月23日 JDF 幹事会
- 9月23日 情報文化センター第2回評議員会
- 9月28日 機関誌発送
- 9月28日 オリパラに向けた多様な利用者の円滑な移動支援に関する共同研究協議会

平成 28 年度要約筆記事業研修会のお知らせ

毎年、各地で開催しております要約筆記事業研修会ですが、今年度は東京で開催します。日程及び会場は、以下の通りです。

- 日程 2017年1月8日（日）、9日（月）
- 場所 戸山サンライズ 大会議室＋中会議室
- 内容 要約筆記事業に関わるスキルアップ講座

具体的な内容は、10月の募集案内にてお知らせします。

年明け早々の開催となりますが、2017年度のスタートアップの意味を含めて皆様のご参加をお待ちしております。
